飯野小学校だより No.３令和３年５月１７ 日

飯野っ子

文責　本多

【学校教育目標】
意欲的に学び、心豊かで
たくましく生きる児童の育成
〔目指す子供〕
やさしい子 かしこい子 たくましい子

オリンピック聖火ランナー応援！（６年）

６年生と本多先生、校長先生

５月７日（金）６年生が聖火ランナーを応援に行きました。小雨の降る中、傘を持って７時５０分に学校を出発。新田橋バス亭で市が用意したバスに乗り、有家町運動公園に行きました。有家漁協にはバスが何台も停まっており、市内の小学校６年生から中学３年生までが、集まりました。しばらく待ちましたが、人が集まるイベントは、何となく楽しい感じがして、あっという間に聖火ランナーがスタート。スマートフォンで聖火ランナーを子供たちと見ていると、知り合いが走っていたり、走っている風景が分かったりと楽しく応援ができました。運動公園の中で応援をしていましたが、聖火ランナーが近づくと中継車等がどんどんやってきて、盛り上がりました。「声を出さないで、拍手で応援してください。」と何度も放送がありました。「オ～」など声にならない歓声があがり、独特の雰囲気でした。１年生から５年生は、教室で電子黒板に映るライブ配信の聖火ランナーを見て応援しました。何十年に一度のオリンピック聖火ランナー応援という体験は、子供の心に刻まれたことと思います。

聖火ランナー

交通安全教室を実施しました！

１年生が道路の横断

５月１７日（金）午後から南島原警察署の方、交通安全協会布津支部の方を招き、交通安全教室を行いました。横断歩道や交差点の歩行の仕方、安全な自転車の乗り方を学び、実際に歩いたり、自転車に乗ったりしました。低学年が終わった後、２年生が次のような感想を発表しました。「道路を渡るときは、左右を見て行くということが分かりました。」「本当の道路でも学んだとおりしたいです。」「横断歩道の渡り方が学べてうれしかったです。」とても、いい感想でした。警察署の中村さんが、指導されたことには、次のようなことがありました。「飯野は道路が狭いところがあるので、道路の端を歩いてください。」「命を守るために周りをしっかり見て、安全を確かめてください。」など、大切なお話がありました。今日の学習したことを普段の歩行や自転車の乗り方に活かしてほしいと思います。命を守る大切な学習ができました。警察署の方、交通安全協会の皆様に感謝です。

自転車の乗り方

『手間、暇を掛ける』が、子育てには必要です！

「手間、暇を掛ける」という言葉があります。「手間」とは労力のこと、「暇」とは、時間ということですので、「労力」と「時間」を掛けるという意味です。何かを作ったり、育てたりするときに使う言葉ですが、丁寧さを表しています。子育てには、この手間、暇を掛けるということが、とても重要です。「分かっているけど、忙しくて・・」と思う人もいると思います。忙しい中、授業参観に来て、子供の姿を見る。学級部会に参加して、子供の様子を聞く。そして、家に帰ってから子供と話をする。こういうことが、手間、暇を掛けていると言えます。何か特別なことをするのではなく、今、子供と向き合える時間を大切だと思う気持ちが重要だと私は思います。飯野小では、４月の授業参観、ほとんどのご家庭が参加してくださいました。私はとても、うれしかったです。